

平成25年度 第1回千葉市こども未来局指定管理者選定評価委員会 議事録

1 日時 : 平成25年7月19日(金) 10時00分～

2 場所 : 千葉市議会(千葉市役所議会棟) 第4委員会室

3 出席者 :

(1) 委員

岩切裕委員(会長)、鶴見泰委員(副会長)、木頭信男委員、田原洋子委員、
中原秀登委員

(2) 事務局

【こども未来局】	川上こども未来部長
【こども未来部こども企画課】	齋藤課長、始関担当課長
【こども未来部保育支援課】	松尾課長

4 議題 :

- (1) 「千葉市子ども交流館」の年度評価について
- (2) 「千葉市子育て支援館」の年度評価について
- (3) その他

5 議事の概要 :

- (1) 「千葉市子ども交流館」の年度評価について、評価シートをもとに事務局から説明を行い、評価に関して委員会としての意見を取りまとめた。
- (2) 「千葉市子育て支援館」の年度評価について、評価シートをもとに事務局から説明を行い、評価に関して委員会としての意見を取りまとめた。
- (3) 事務局より、今年度の会議の開催、また議事録と評価シートについての説明を行った。

6 会議の経過：

○事務局 これより、平成 25 年度第 1 回こども未来局指定管理者選定評価委員会を開会させていただきます。

私は、本日の進行を務めますこども企画課、稲増と申します。よろしくお願ひいたします。

本日は委員の皆様全員にご出席をいただいておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第 10 条第 2 項の規定により、会議が成立しておりますことをご報告いたします。

また、当会議は公開となります。傍聴人は現時点ではいらっしゃいません。

議事次第、席次表を机上配付いたしております。また、事前に青いファイルの配付資料と黄色いファイルの参考資料をお配りしております。資料につきましてお気づきのことがございましたら、いつでも事務局までお申し付けください。

それでは、開会に当たりまして、こども未来局こども未来部長、川上からご挨拶申し上げます。

○川上こども未来部長 皆様、おはようございます。本日は大変お忙しい中、また、お暑い中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。また、市政各般にわたりまして日ごろから多大なるご理解、ご協力をいただいておりますことを、改めて御礼申し上げます。

本日の会議でございますが、一昨年、平成 23 年に指定管理者を選定いただきました子ども交流館、子育て支援館の平成 24 年度の管理運営状況につきまして、市による評価を行いました。その評価についてご審議、ご意見をいただきたくお願ひするものです。

また、前回の委員会で、ご意見をいただきました指定管理者の評価方法につきましては、指定管理者制度を所管する部署と協議を進めてまいりましたので、後ほど事務局からご報告させていただきます。

委員の皆様には、それぞれご専門の立場から忌憚のないご意見をいただければと考えております。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

○事務局 委員の皆様のご紹介及び事務局職員の紹介は、お手元の委員名簿及び席次表の配付によりかえさせていただきます。

それでは、以降の議事の進行につきましては、岩切会長にお願ひ申し上げます。よろしくお願ひいたします。

○岩切会長 皆さん、おはようございます。大変暑い中、ご苦労さまでございます。

ただいまお話がございましたが、本日は、一昨年度に選定されました指定管理者の実質的には初年度の管理実績の評価についてでございます。今後に向けまして非常に重要な審議だと考えておりますので、慎重にご審議いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

それでは、議題に入ります前に、次第 4 の「平成 24 年度第 1 回こども未来局指定管理者選定評価委員会における意見」について、事務局よりご説明願ひます。

○齋藤こども企画課長 こども企画課長の齋藤でございます。どうぞよろしくお願ひいた

します。

私からは、次第4といたしまして、前年度の委員会の際に、委員の皆様から賜りましたご意見につきまして、指定管理者制度を総括する業務改革推進課との協議・調整しました結果をご報告申し上げます。

ご報告に先立ちまして、評価シートにお目通しいただきたいと思っておりますので、恐れ入りますが、青いファイルの3-2の子ども交流館の評価シートをお開きください。評価シートは、1の「基本情報」、2の「管理運営の実績」、3の「利用者ニーズ・満足度等の把握」、4の「指定管理者による自己評価」、5の「市による評価」、及び6の「こども未来局指定管理者選定評価委員会の意見」で構成されております。

昨年度の委員会でのご意見は、2の「管理運営の実績（3）収支状況」、これに関するものと、もう一つ、5の「市による評価」のうち総合評価をあらわす「S, A, B」の3段階評価と、個別事業の成果を「1, 2, 3」の3段階で評価する履行状況に関してのものとなっております。

それでは、青いファイルの資料2をお開きいただきたいと存じます。前年度の委員会でのご意見は、事業に関するものと財務に関するものに大別できまして、それぞれ2項目ずつ、合計4つの論点をいただいたものと認識しております。

それでは、資料に沿ってご説明申し上げます。

最初に、意見1の（1）、「全庁的に市による評価はAが多いようだが、差をつけることで指定管理者のやる気、意欲の向上が図れないか」についてです。この項目は、事業実績を総合的に踏まえた上で「計画を超える実績」をS、「計画どおり」をA、「計画未達成」をBと評価するもので、結果的にA評価が多くなる現状がある中で、昨年度、差別化による指定管理者のモチベーション向上についてご議論があったものです。

これについての考え方ですが、まず1として、個別事業で計画を上回る実績を残していても、事業計画の履行状況を総合的に捉えて評価するため、Aの評価となることが多くなる。2として、一方で、指定管理者が事業計画を年々高度化させている場合もあり、そのような姿勢は積極的に評価する必要がある。

資料では※印で注を入れておりますが、具体的に一例を挙げますと、例えば、子育て支援館は、23年度計画で各施設とも連絡調整の項目で、これを1回実施の計画としていましたが、実績では3回実施しており、昨年度の評価シートでは、履行状況を「3」と評価いたしました。24年度は、同じ項目で計画回数自体を1回から3回に上げておきまして、そして、実績で3回実施をいたしました。履行状況と実績の関係だけで評価すれば、計画どおり実施された場合の2の評価となりますが、ここはもっと積極的な評価をすべきではないかという考えでございます。

3になりますが、履行状況の評価を事業計画と実績の単純な突合とはせず、計画の充実度なども加味させまして、備考欄にその旨を記述し、指定管理者の努力を正しく評価いたしまして、委員の皆様からご意見がありましたやる気・意欲の向上につなげたいと考えております。

続いて、次に意見1の（2）履行状況の評価についてですが、これは、個別の項目に

ついて計画数値からどのくらい前後すると3や1の評価になるのか。例えば10%以内のずれだったら2とするのかというご意見でございまして、結論としましては、同じ施設でも個別事業で評価の内容が変わることから、一律に一定のルールによって、ある程度まで自動的に評価するという事は困難であると考えております。今後も本件につきましては、継続的な課題として事務局として検討してまいりたいと考えております。

次に、意見2の(1)指定管理事業単体の決算書についてですが、子育て支援館については、今回、単体決算書を用意できましたが、子ども交流館は単体決算書を未作成のため、昨年同様の資料でご審議いただきたくお願いするものです。年度評価に当たっての提出書類は協定書で定められておりまして、指定管理事業単体の財務諸表の提出は含まれておりません。子育て支援館は、指定管理事業を特別会計として経理されているために準備できたものです。

次に、意見2の(2)収支のマイナスと市による評価についてですが、評価は個別事業の履行状況を総合的に勘案して評価するものであることから、収支にマイナスが生じましても、それを「S, A, B」の評価と直結させないこととすることにいたしました。ただし、市としましては、指定管理の期間は継続的な管理をお願いし、毎年度、管理をブラッシュアップさせることで市民皆様のニーズに合致させたいと考えておりますので、赤字が継続すれば、事業の継続性の観点で好ましくありませんので、その旨を市の所見欄や評価委員会の意見を通じて発する必要があるものと考えております。

次第4につきまして、説明は以上でございます。

○岩切会長 ありがとうございます。

昨年度の委員会の中で、この件に関しまして多くの意見をいただきましたので、事務局で検討していただいたということですが、いろいろ検討していただいてありがとうございます。

ただいまご説明がございましたが、この検討結果に対してご意見はございますか。

○木頭委員 アクティオさんの収支状況ですが、マイナスの179万2,000円というのは、これはアクティオさんの全体の事業の結果によってこのマイナスが出たわけでしょうか。

○始関子ども企画課担当課長 こども企画課担当課長の始関と申します。よろしく申し上げます。

指定管理者の評価シートの収支状況でございますが、これにつきましては、子ども交流館のみの事業のものになっております。

○岩切会長 昨年度の委員会での意見についての事務局の検討結果を整理しますと、意見の1は、評価基準についてです。「S, A, B」「1, 2, 3」という評価基準の妥当性です。意見の2は、財務について指定管理者事業単体の決算書があると、財務状況を把握しやすいということです。まず、事務局からのご説明について何かご質問ございますか。

特にご意見がないようですが、私も昨年、意見を申し上げた一人ですので事務局の検討結果について意見を申し上げます。

特に、意見の1の(2)、「履行状況の「1, 2, 3」の客観性を持たせられるか」に

ついてですが、施設ごと、また同じ施設でも個別事業ごとに評価の内容が変わるため、一律に各事業に共通した評価基準を設定するのが難しいということを改めて感じました。議論の始まりが、事業者のモチベーションの向上につながるよう、努力した結果が報われる評価をとという委員の皆さんのご意見を反映させた評価方式で運用を始めたところでございますので、事業が効果的に機能していくように、今後とも検討を続けていただければと思います。透明性といいますか、市民目線から見て、評価の過程あるいは結果がより見えるような形にしていったほうが好ましいと考えますので、よろしくお願ひします。

そのほかご意見はよろしいですか。

特にないようですので、本日の議題に入らせていただきます。事務局より議題についてご説明をお願いいたします。

○齋藤こども企画課長 本日の議題について、ご説明申し上げます。今回は、子ども交流館及び子育て支援館の評価について、各所管課から指定管理者評価シートに沿って説明いたしました後に、評価シートの委員会意見欄に記入する委員会としてのご意見を伺いたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

なお、昨年度ご審議いただきました児童福祉センターにつきましては、平成25年3月末日をもって全ての施設を廃止いたしましたことをご報告申し上げます。

以上でございます。

○岩切会長 ありがとうございます。

それでは、議題の1、「千葉市子ども交流館」の年度評価について、進めてまいります。事務局よりご説明をお願いします。

○始関こども企画課担当課長 こども企画課担当課長の始関と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、子ども交流館の年度評価シートにつきまして、ご説明させていただきます。資料の3-2をご覧ください。項目がたくさんございますので、重要な部分、また、特に説明が必要な項目を中心にご説明させていただきます。

施設名は、子ども交流館。

指定管理者は、昨年度から引き続き指定管理者となっておりますアクティオ株式会社でございます。

この、子ども交流館は、子どもの健全な遊びと居場所の提供を主な目的とした大型の児童館の機能を持つ施設となっております。

次に、2の管理運営の実績についてご説明いたします。

(1)の主な実施事業につきましては、記載のとおり、指定管理業務と自主事業を行っております。

(2)の利用状況をご覧ください。利用者は昨年と比べて6,500人ほど増加しておりますが、目標値には若干足りず、達成率は98.5%となっております。利用登録者数は増加しております、前年度比104.5%でございます。

(3)の収支状況でございます。①収入実績の自主事業の欄でございますが、決算額

が計画比 50.6%となっております。原因でございますが、実施事業に係る歳入減が原因でございます。具体的に申し上げますと、表の備考欄に記載してございますが、自主事業でミュージックレッスンが3コースございまして、参加費を徴収し、それぞれ月2回程度、年間68回の計画で開催いたしましたが、参加者が合計460人の募集に対し182人しか集まらず、収入が減となったものでございます。

なお、このほかにも「キッズミュージック」などの事業が月によっては募集人員を下回っております。

また、「親子のコミュニケーション・クッキング」につきましては、年4回実施の計画でございましたが、講師の病死により1回のみ開催となっております。

②の支出の実績の管理費の欄でございますが、決算額が計画比511.4%となっております。こちらは、本市と事前協議をいたしておりました入退館システムを構築した際に、周辺備品が追加になったものと、学習室の机を増やしてほしいという利用者の要望に応え、指定管理者が追加購入したものでございます。

次に、(4)の行政処分の件数でございますが、音楽スタジオ等の施設の使用許可を1,531件実施しております。

(5)の市への不服申し立て、並びに情報公開の状況につきましては、実績はございません。

次に、3の「利用者ニーズ・満足度等の把握」の欄をご覧ください。当施設では、利用者に随時、自由記載のアンケートを行っているほか、特定のイベントの際に開催内容のアンケート調査を実施しております。回答の内容につきましては、ここでは要望や苦情等を記載してございますが、件数の割合で申しますと、「満足している」、または「おおむね満足している」「また来たい」という回答が8割以上を占めております。

②のアンケートによる指摘、要望事項に対する対応でございますが、数例紹介させていただきます。

まず一例ですが、プレイルームの利用者の方より、「小さい子どもがハイハイをすることがある。髪の毛やほこりが結構あるので、拭き掃除をしてほしい」といった意見がございました。この対応策といたしましては、プレイルームの休憩時間以外にも拭き掃除を行い、清潔な環境を守れるよう改善いたしました。

このほか、6月より入館時の登録や利用手続の煩わしさを解消するため、入退館管理システムを導入してございまして、利用者から「手続がスムーズになった」などの一定の評価をいただいております。

以下、数点改善項目について記載してございます。

次に、(2)の市に寄せられた意見、苦情については、実績がございませんでした。

次に4の「指定管理者による自己評価」でございますが、指定管理業務に関しまして一定の評価をしているほか、新たな利用者獲得のため、市内各地で出張講座を開催するなど、施設外の活動に貢献しているほか、職員研修を行いスキルアップに努めているという評価になっております。

次に、5の「市による評価」でございます。「S、A、B」の評価でA評価としております。指定管理業務につきましては、おおむね適正に実施されており、一定の評価はで

きますが、計画と比較し飛び抜けた成果が上がっているとまでは言えないという評価でございます。

所見について読み上げます。6点ございます。

1つ目に、入退館システムを導入したことにより、利用者の入退館時の手続を簡素化し、館内各施設の利用状況を正確に把握することにより、利用者のニーズの把握に努めている。

2つ目に、平成24年度から、いじめや虐待などの相談を受けるチャイルドサポート事業を開始し、関係機関との連携を図り、一定の成果を上げている。

3つ目に、ホームページをリニューアルし、イベント案内を随時掲載・更新し、スタッフブログでの講座の紹介など、周知活動を積極的に行っている。

4つ目に、中央区外の学校や商業施設において出張講座を開催し、市内全域に利用が広がるよう積極的な広報活動を行っている。

5つ目に、本市の「こどものまちC B T」やワークショップ、フォーラム、「青少年の日フェスタ」などの子ども施策への協力態勢が強化されており、事業内容の充実に寄与しているといった評価でございます。

最後に、課題として自主事業については、参加者のニーズを把握し、企画自体を見直すことや、周知方法、時期についても検討する必要がある。

以上が市による評価のコメントでございます。

その下に個別の評価をしておりますが、1が計画どおりの実績を上げていない項目、2が計画どおりの項目、3が計画を上回る項目でございます。ここでは特に市が1と評価した項目についてご説明させていただきます。

ページをお開きください。表の中ほど、「自主事業の効果的な実施」の欄をご覧ください。一番上の「親子のコミュニケーション・クッキング」でございますが、当初、4回を予定していたところ、講師の病死により実績が1回となったため、評価を1といたしました。

また、「わくわく運動遊び」につきましては、当初の計画では2歳児と3歳児のクラスを4回ずつ開催としていましたところ、統合して5回との実績になっておりましたので、評価を1といたしました。

また、一番下の欄、収入見積りの妥当性ですが、先ほどご説明させていただきましたとおり、参加費を徴収して実施する自主事業が計画どおりの参加者が確保できず、収入減となっているため、1とさせていただきます。

したがいまして、合計101点、平均では2.1点のため、A評価といたしました。

以上が市による子ども交流館の年度評価でございます。よろしくお願いたします。

○岩切会長 ありがとうございます。ただいま、事務局からご説明がありましたが、何かご質問はございますか。

○鶴見副会長 特に課題があるところとしては、自主事業の達成率だと思うのですが、収入が実際の計画よりも約半分にとどまっていることにつきまして、指定管理者から、改善策など、市に対して提示されているのでしょうか。

○始関子ども企画課担当課長 本年度につきましても、指定管理者が事業の実施内容を見

直し、事業計画を改善しておりますが、来年度は、自主事業を一層効果的に実施できるよう、さらなる事業内容の見直しや、参加者募集の方法について周知を図っていきたいということで、市も指導しておりますし、指定管理者からも、改善の提案をいただいております。

○木頭委員 収支状況についてです。収入実績は事実に基づいて計上されていますが、支出の事務費や管理費は、本社が東京にあるので、そちらの経費が過大に計上されていないか、実際に要している事務費、管理費を確認されたほうがいいのではないかと考えます。

○始関子ども企画課担当課長 事務費及び管理費の確認方法につきましては、今後、指定管理者と相談させていただきます。

○中原委員 それぞれ各項目の評価について、例えば3ページ目の遊びと居場所に関する情報提供の情報誌の発行が計画どおり年12回でしたが、評価については3点ということになっています。これは、計画どおりなので、2点ではないかなということですが、最初の説明にありましたように、この発行内容あるいは情報の内容が極めて斬新というのか、何か評価が高まる内容が含まれているということなのでしょう。

○始関子ども企画課担当課長 こちらの「子どもの広場」につきましては、昨年度、年4回発行ということで計画を立てておりましたが、今年度から毎月発行ということで、計画のレベルアップを図りまして、計画どおりに進んだということで評価を3とさせていただきます。

○中原委員 ここで内容を確認したので、それはわかりましたが、この評価シートが公開されると、ご覧になった方は「計画どおりじゃないか」ということになりますので、レベルアップしたところは、何か印でもつけておけばわかりやすいかなと思います。

○岩切会長 他にご質問はございますか。

○田原委員 自主事業で、先生が亡くなられたから計画未達でした、ではなくて、代替できる先生を手配するなどの方策がなければいけないのではないかと思います。そうでないと収支のところで常にマイナスが生じますね。計画を立てるときに、先生が不在となった場合の方策をもうちょっと準備されたほうがいいかなと思います。

○始関子ども企画課担当課長 今回の「親子のコミュニケーション・クッキング」につきましては、地域の食材を生かした、地域の食育にかかわる調理師さんが行うということで計画を立てておまして、代替できる方を探したのですが、適任の講師が見つからず、4回実施のところを1回のみの実施という形になったわけでございます。今後、代替策の検討も踏まえて計画を修正していきながら実施していくよう指導してまいります。

○木頭委員 現段階では代役をする方は見つかっているのですか。

○始関子ども企画課担当課長 今年度につきましては、新たな講師を今探しているところでございます。

○岩切会長 他にご質問はございますか。

○田原委員 アンケートで意見の中に「利用者のマナーが悪い」というのがありましたが、どんなことですか。

○始関こども企画課担当課長 アリーナでの飲食、卓球スペースでバスケットボールをやっているというものです。アリーナには必ず職員がついて、マナーの悪い利用者には注意をしているのですが、そのような意見をいただいております。

○岩切会長 財務状況についてはいかがでしょうか。

○木頭委員 財務状況は、負債合計が10億2,642万円、純資産が16億で、純資産の合計は、6億2,300万円、損益の状況が1億300万円で、財務のバランス性や収支状況に関しては問題ありません。ただ、ほかの事業は利益が出ているにもかかわらず、子ども交流館事業は赤字ということに関しては若干疑問が残ります。

○岩切会長 全体的な財務状況については問題ないということによろしいでしょうか。

○木頭委員 はい。

○岩切会長 他にご質問はございませんか。ご質問がないようなので、委員さん方から出ましたご意見をまとめますと、自主事業の収支や達成率が低い部分があるというご指摘がございました。これは今後見直しを指導するという事務局からの説明がございました。

それから、評価基準についてです。評価シートの記載内容を見る限り、記載されている文言は昨年とあまり変わらないのに、昨年度は2の評価が、今年度は3になっているということで、市民の目から見た場合に、評価に疑義が生じるおそれがあるというご指摘でした。そのため、2から3に上がったことについて、どこが評価されたのか評価シートに記載する必要があるというご指摘です。

それから、自主事業の中で代替的な措置を講ずるべきだというご指摘です。アクティオさんの場合には、昨年度も同じような事態が生じており、代替措置を講じられたいとして、委員会の意見を述べております。同じ事業者さんが指摘事項と類似の事態について、対応が図られていなかったということは、軽視できない問題としますので、そこは再度指摘すべきである、そういうご意見でございます。

それから、収支状況は全般的には健全な状況で、会社経営としては問題がなさそうだけれども、指定管理事業の会計処理については、事務費とか管理費等の計上等に分かりづらさがないのかというご指摘です。この件については、事業者を確認する事項に挙げたいというご意見が出ております。

また、子ども交流館事業がマイナス収支になっていることは、理解しづらいというご意見です。そこについては指摘事項としますか。

○木頭委員 それは会長にお任せします。

○岩切会長 わかりました。収支の状況は、この後、子育て支援館の説明もありますが、収支がただ黒字になればいいかというところでもなくて、それについては単純に数値の上で黒字になれば順調にいと評価していいというわけではないですね。

○木頭委員 事業全体の損益と単独のものとは全く違うのです。

○岩切会長 そうですね。わかりました。

基本的には、指摘するところばかりではなくて、入退館システムを新しく導入したことで、利便性が図られたという点やアンケートなどを見ましても、非常に努力されている部分もございます。ただ、カードの発行に時間がかかるというようなご指摘も、一部

ございました。また、自主事業等は代替措置の指摘はございますが、AV機器の更新など利用者のニーズに対応する工夫も見られます。このあたりが評価の難しいところですが、全般的には意欲的に運営がされているように感じました。委員さん方からございましたようなご指摘を受けて、意見としていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

私から一つ申し上げますと、これは子ども交流館も子育て支援館も共通することですが、昨今、子どもが被害者となる事件、事故が全国的に多発している状況があります。安全管理の面での評価について、マニュアル等が整備されていることは把握できたのですが、実際に機能する状況にあるかということは、書面からは把握できないところがございます。

特に今審議している子ども交流館については、件数はそんなに多くないものの、不審者、事故、けがなどが発生していることが報告されていますので、大きなことにならないように、事前の対応を確実にしていかなければならないように思います。何かあつてからでは遅いので、事業者に安全面の配慮について再度ご指導いただければと思います。指摘事項ということではないのですが、子ども交流館は、利用する年齢層が、子どもたちといってもかなり幅広く、その点でも十分注意していかなければいけないと思います。

それでは、ご意見ないようですので、続けてまいりたいと思います。

議題の(2)ですが、「千葉市子育て支援館」の年度評価につきまして、事務局よりご説明よろしく申し上げます。

○松尾保育支援課長 保育支援課長の松尾と申します。どうぞよろしくお願いいたします。座って説明させていただきます。

それでは、青いファイルの資料の4-2、指定管理者評価シートをご覧くださいと思います。

1の「基本情報」についてですが、指定管理者は、公益社団法人 千葉市民間保育園協議会でございます。千葉市民間保育園協議会と申しますのは、現在、市内63あります民間保育園のうち、59保育園が加盟する団体組織でございます。子育て支援館のほかに、新宿保育所の近くにあり、ひなたぼっこ保育園などを運営しております。

2番の「管理運営の実績」、(1)主な実施事業でございますが、施設の維持管理や、乳幼児とその保護者を対象とし、親子の遊びや交流の場の提供をはじめ、各種子育て相談、子育てに関する情報提供を行う本市の子育て支援拠点施設である子育て支援センター事業、それから、子どもを預かってほしいという方と預かる方を登録いたしまして、相互に援助活動を促進するための支援や連絡調整を行うファミリー・サポート・センター事業等でございます。

次に、(2)の利用状況でございますが、平成23年度の8万3,090人から平成24年度は8万3,364人と、274名の増となっております。平成24年目標率に対し111.2%となっております。相談件数も平成23年度が2,398人に対しまして、44名増の2,442件となっております。また、ファミリー・サポート・センターの会員数も100名増の4,675人となっております。

次に、(3)の収支状況を説明させていただきます。

①の収入実績でございますが、その他の欄で、計画額3万5,000円のところ、決算額で6万9,000円と、プラス3万4,000円となっておりますが、これは備考欄にありますように、希望者のみに販売しております名札の販売が計画を上回ったものでございます。

②の支出実績でございますが、決算額が計画額を下回っております。内訳は人件費で約157万円、事業費で約103万円、運営費、これは主に備品になりますが、5万9,000円と計画額よりも下回っております。人件費につきましては、常勤の心理士から非常勤の心理士にかわったことによる人件費の節減、事業費では主に修繕費、光熱水費、旅費などになりますが、予定していた修繕よりも安く済んだことや、光熱水費などが省エネなどによる効果もあったことから、安く抑えられたことが原因となっております。これにより、③のとおり、収支実績額は294万4,000円の黒字となっております。

次に、(4)の指定管理者が行った処分の件数でございますが、265件となっております。これは、多目的室の使用許可を行ったものでございます。

次に、(5)市への不服申し立てにつきましては、ございませんでした。

次ページをご覧ください。(6)の情報公開の状況につきましても、同様にございませんでした。

次に、「利用者ニーズ・満足度の把握」でございますが、(1)の①アンケート調査の実施についてですが、さまざまな方法にてアンケートを実施しております。初めて来館した方へのアンケート、3ヵ月に1回実施している来館者へのアンケート、各種イベントなどで実施するアンケート、館内に設置したポストなどでアンケートを実施し、合わせて2,161件に上るご意見をいただいております。

②の調査の結果でございますが、来館している方は、やはり20代から30代の女性の方が大半を占めており、初めて来た方からは、親子で遊ぶ目的で来た方が60.9%、「友達をつくるため」と答えた方が14.6%となっております。

また、3ヵ月に1回実施している来館者からのアンケートからは、「よく利用するコーナーは」との問いに、「プレイホール」が71.9%、「ままごとコーナー」が48.9%となっております。

イベントで実施するアンケートでは、わいわいひろばの利用について聞いたところ、「初めて」と答えた方が40.6%、「2～4回」と答えた方が38.9%、「5回以上」と答えた方が20.5%いらっしゃいました。

アンケートに寄せられた主な意見、苦情では、駐車料金の割引や無料の要望が14件と一番多く寄せられました。ちなみに、駐車料金は20分100円となっております。

一番下の市に寄せられた意見、苦情は2件あり、1件は、休館日を変更してほしいというご意見でございました。この方は美容師をされており、ご自分がお休みのときということで、子育て支援館の休館日が火曜日であることや、お住まいの近くのリラックス館などをご紹介するような対応をいたしまして、ご納得いただいております。

もう1件は、意見というよりも注意事項として私どもに報告があったものですが、体の大きな乱暴な子がいるので、何とかしてくださいというものでした。

次に、4の「指定管理者による自己評価」のうち、まず、提案（計画）内容の達成状況についてですが、管理運営基準に基づき遵守し実施した。相談業務については、臨床発達心理士、認定心理士、看護師や保育士、統括アドバイザーも相談に当たり、相談業務を適正に実施した。

次に、利用者意見に対する評価ですが、年4回実施している来館者アンケート、はじめましてアンケート、ご意見ポスト、ひろば・イベント等の参加者アンケートにおいて、おおむね高い評価やご意見をいただいている。これらの点から、運営に対し高い評価を得ているものとする、としております。

次に、5の「市による評価」でございますが、Aとしております。指定管理委託として引き続き指定された第2期の1年目である。来館者は過去最高の8万3,364人、前年度比100.3%増を達成した。また、遊びの講座などの自主事業を拡充するとともに、新たに出張によるサークル支援を行ったほか、各施設との連絡会議や研修会の回数を増やすなど、より積極的な提案がなされた中で、着実に実行した。

地域子育て拠点施設としての業務については、各施設の統計の取りまとめ、各施設の翌月に実施する講座等の情報収集、ホームページ等での情報提供等を円滑に行った。

ファミリー・サポート・センター事業についても、基礎研修、広報活動などに積極的に取り組み、過去最高の4,675人、前年度比102.2%増の会員数と、1万1,174件、前年度比116%の活動件数となっている。

次に、履行状況の確認事項でございますが、初めに事務局から説明がありましたように、今年度につきましては、提案や事業計画を上回る実績がある場合はもちろんのこと、提案や事業計画自体がより積極的、意欲的なものに底上げされ、これを実行している場合も、その努力を評価するという形で、3という評価を行うことといたしました。1とした評価はございませんでした。

先ほど委員さんからもご指摘がございましたように、市民の皆さんから見てわかりやすくそのところを記載する必要があるということは、全く同じでございます。

そのような考えのもとに評価いたしました結果、合計点では93点、平均では2.4という結果になりました。ちなみに、昨年度も平均2.4ということで、A評価でございました。今回もAと評価をするものでございます。

以上が子育て支援館に対する評価シートの説明でございます。よろしくお願いたします。

○岩切会長 ありがとうございます。ただいま、事務局からご説明がありましたが、何かご質問はございますか。

○鶴見副会長 評価を拝見いたしまして、1もなく、おおむね良好な評価ではないかと思いますが、Sにしなかったということは、何か問題点があるというご認識ですか。

○松尾保育支援課長 私どもで、昨年、前回は91点で2.4、今年度93点で2.4ということで、項目数にしますと38項目ありまして、3点を掛けますと、全体で114点が満点ということになります。現在、93点でございますが、所管課としては95点以上をS評価と考えておりますが、2.4が2回続いておりますので、次年度もそういう良好な状況であれば、Sと評価することも検討してまいりたいと考えています。

- 鶴見副会長 わかりました。
- 木頭委員 収支の状況についてですが、この指定管理者委託料というのは、全額を市が支払っておられるのですか。
- 松尾保育支援課長 はい。
- 木頭委員 その前提に立つならば、収支実績は市の補助金によって増減するので、全く考慮すべき項目ではないと思います。
- ただ、一つ疑問な点は、人件費です。人件費をパートに切りかえたことによって減少していますが、それは保育支援業務上、支障はないのですか。
- 松尾保育支援課長 私どもとしましては、常勤の発達心理士が一番望ましいと思っております。今年度も、非常勤で発達心理士お二人の方を交代で配置しておりますので、事務に支障はないのですが、引き続き常勤の発達心理士を雇うよう指導してまいりたいと思います。
- 木頭委員 もう一つ、財務の状況ですが、この団体は公益社団法人ということですから、利益を追求するものではないので、貸借対照表についても特に問題はありませんし、損益計算書も問題ないと考えます。
- 岩切会長 ありがとうございます。他にご質問ございますか。
- 田原委員 評価シートの4ページで、24年度の利用状況報告書があります。そこで、来館者の市外という方が多いのですが、これは6区以外から来館しているということですか。
- 松尾保育支援課長 市外を聞いてみましたところ、近隣の四街道市、八千代市、習志野市からも来ている方がいらっしゃいます。
- 田原委員 美浜区や緑区よりも多いですね。
- 松尾保育支援課長 ロコミなどの評判もよいと認識しております。
- 岩切会長 他にご質問はございますか。特に指摘事項はなさそうな感じでございますが、前回の指定管理の期間の評価では、おおむね順調に事業が進められているということは承知しておりますし、今回もまた利用者数がさらに増えているとか、ファミリー・サポート事業の会員数も増えているとか、非常に順調に推移しているようでございます。また、自主事業等も非常に意欲的に取り組まれているということで、特に指摘をすることもなさそうです。
- また、財務状況も問題はないだろうということでございます。
- 人件費は、専門職が常勤から非常勤対応となった結果、黒字になったということで、先ほど話題になった件でもありますが、一概に数字だけで評価することができないということは、このあたりだと思います。これは常勤が見つからなかったということですか。
- 松尾保育支援課長 はい、そうです。前任者の方が、非常に経験が豊かで、事業開始当初から関わっていただいております。今の相談事業のシステムをつくり上げた方で非常に信頼できる、頼りになる方でしたので、その方と同じような方を探そうと思っております。なかなか見つからないという状況です。ただ、相談事は必ずありますので、相談事業を継続して実施できるよう、非常勤の心理士の方を二人配置いたしました。
- 岩切会長 わかりました。事業の推進には特に大きな問題は生じなかったということで

すね。ありがとうございます。

それでは、委員会としての意見ですが、問題点として指摘するところはないということです。財務状況も健全な状況のようですし、大きな問題はないということです。また、利用者数も増えておりまして、自主事業も非常に意欲的で、特に指摘することはなさそうです。また、事業報告を見ますと、モニタリングが非常に充実していて、状況をかなり把握されているということを感じます。この点は非常に高く評価できるのではないかと考えております。

ところで、評価に影響するものではありませんが、課題などの記載が一切ないので、事業者は課題等の認識がないのですか。

○松尾保育支援課長 私も子育て支援館の会議に参加したり、子育て支援館からの相談を受けている中で、非常に積極的、意欲的な姿勢を感じております。5年間の指定期間の中で、決まった計画を実施していくものですが、さらにその計画の中で、こういったこともやりたい、ああいったこともやりたいという提案がありましたが、指定管理者制度の中で、決められた予算がありますので、新たな計画がなかなか立てられないのですが、それでも事業者としては、これはやるべきだと思うからやりますよとか、お金がなくても社団法人から寄附金を受けて、自らやるという姿勢があるので、その意欲的な姿勢に対応してあげられないのがもどかしいと感じているところです。

○岩切会長 わかりました。相当意欲的にやっているところですね。市の評価も、こういう現状が何年も続けば、かなり高い評価ができるのではないかとのお話ですね。わかりました。それでは、そういうことで特に指摘事項というのは設けなくていいようですね。子育て支援館に関してはよろしいですか。

全体的な評価ですが、最初に事務局から、昨年度の我々の意見について検討した結果の説明がありましたが、やはり事業者のモチベーションを高めていくことは極めて大事なことなので、計画を上回ってでもやろうというような姿勢を持っていらっしゃるということは、非常に高く評価していかなければいけないですね。ですから、そのあたり、A評価ということで変わりはないのですが、備考欄などで、そのような高く評価すべきところを高く評価した部分が事業者にも伝わるような記載をお願いいたします。

それでは、以上の趣旨を踏まえて委員会としての意見を、まとめさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。

それでは、子ども交流館、子育て支援館について、進めてまいりましたが、評価シートへの最終的な意見の反映方法につきまして、事務局からご説明願います。

○齋藤こども企画課長 委員会の意見欄への記入方法についてですが、本日、施設ごとにいただきましたご意見につきまして、事務局で集約させていただきまして、案文を作成したいと考えております。その後、会長のご了承を得た上で委員の皆様にお諮りして、内容を確定したいと考えておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

○岩切会長 そういう形でよろしいでしょうか。

(各委員了承)

○岩切会長 これでは本日の議事は以上ですが、委員の皆様方、何かございますか。よろしいですか。

それでは、最後になります。議題の(3)のその他について、事務局よりご説明願います。

○齋藤こども企画課長 その他についてですが、2点ございます。

1点目は、本日の議事録と評価シート、それと本日ご審議して集約いたしました答申につきましては、市のホームページで公開されますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。

また、2点目になりますが、今年度の評価委員会は、今回の1回だけでございますので、ご了解いただきたいと存じます。

その他につきましては、以上でございます。

○岩切会長 ありがとうございます。

それでは、特に皆様方からないようですので、本日の委員会は以上で終了ということにさせていただきます。いろいろとご協力いただきまして、ありがとうございます。

○川上こども未来部長 本日は、数々の貴重なご意見をいただきまして、どうもありがとうございました。

今回の市の評価は、昨年度のご指摘を受けて、客観性を念頭に置くものの、単純に計画と実績の数字だけを比較するのではなくて、先ほどもご指摘がありましたが、計画自体を上積みして積極性を見せているところは、適切に評価するというところで、昨年でしたら2の評価とせざるを得なかったものも3の評価をしております。ただ、それだけでは市民にわかりづらいというご意見がありましたので、そこは評価シートの備考欄にしっかりと書いていきたいと思っています。また、いただきましたご意見・ご指摘につきましては、事業に対する指導にも活かしていきたいと思っています。本日はどうもありがとうございました。